

国際学部（国際学科・国際キャリア学科）に関するよくある質問



国際学部 HP
受験生の方へ

◎国際学部全般について

Q.国際学部の授業は、横浜と白金、どちらのキャンパスで開講されますか？

国際学部の授業は、2学科とも4年間横浜キャンパスで開講されます。（他学科では1・2年次が横浜キャンパス、3・4年次は白金キャンパスで開講の学部がほとんどです。）国際学部は、入学式と卒業式も横浜キャンパスのチャペルで行います。4年間同じキャンパスであるメリットは、先輩・後輩との縦のつながりが強く、また国際学部の教員も横浜キャンパスに研究室があるので教員との距離がとても近いことです。横浜キャンパスは広く、自然に囲まれておりアットホームな雰囲気のある場所です。

Q.国際学部にはどんな魅力がありますか？

◆カリキュラムについて

- ・平和や多文化共生など、先駆的な領域で業績のある教員が数多くいます。
- ・地域研究の講義が充実しており、世界の10地域をさまざまな視点で学ぶことができます。

◆語学・留学について

- ・英語の授業が充実しているため、卒業までに語学力を身につけることができます。
- ・世界トップレベルの留学生と一緒に授業を受けることができます。
- ・二重学位制度（ダブルディグリープログラム）を利用することで、在学中にアメリカのサンフランシスコ州立大学の学位の取得も可能です。（本制度は国際学部生のみ対象。在籍平均5年間、留学期間は平均2年半）

◆学生生活について

- ・4年間横浜キャンパスで過ごすことで、先輩・後輩たちと親しくなれます。
- ・ゼミ（国際学科）やアカデミック・アドバイザー制度（国際キャリア学科）を通して、先生に授業に関する内容だけではなく、留学や将来の進路についても相談できます。
- ・高校生の時点でやりたいことが決まっていなくても、入学してからいろいろな分野の専門授業を受けて専攻を選ぶことができます。

◆参照：国際学部公式ウェブサイト <https://fis.meijigakuin.ac.jp/>

Q.国際学部では教員免許などの資格は取得できますか？

国際学科（KS）では、中学校教諭一種免許状（社会）、高等学校教諭一種免許状（地理歴史・公民）の教員免許、社会福祉主事が取得可能です。

※国際学科では、本学の教職課程を履修しながら、他大学の通信教育を受講して、小学校教諭二種免許状を取得する道も開かれています。（別途授業料必要）

※留学から帰国後に教員免許取得は可能ですが、教員免許取得には教職科目の修得と教育実習が必要になるため4年間での卒業は難しくなります。

※国際キャリア学科（KC）では現在取得可能な教員免許はありませんが、社会福祉主事は取得可能です。

◆参照：

- ・大学案内「教職課程」「キャリア支援」 <https://www.meijigakuin.ac.jp/request/>
- ・国際学部パンフレット <https://fis.meijigakuin.ac.jp/ebook/>

Q.国際学科と国際キャリア学科の違いは何ですか？

国際学科（以下 KS）、国際キャリア学科（以下 KC）ともに、「国際学」を学ぶ上では大きな違いはありませんが、一番の大きな違いは、KS と異なり、KC では1年次からほとんどの科目が英語で行われており、講義、授業内での発言や宿題も英語で実施されている点です。また、各学年の人数がKSは約250名に対し、KCは約50名と少人数です。

いずれの学科に所属していても、他方の学科の授業を取ることが可能で、KSの学生も、専門科目で、英語開講科目（英語で授業が行われる科目）を履修できます。その履修を経て、留学をしている学生もいます。そのため、KS生もKC生もキャンパス内で国境を越える文化交流が十分に体験できます。また、国際キャリア学科生が、日本語開講科目（日本語で授業が行われる科目）を履修することもできます。英語、日本語どちらか一方の講義しか受けられないわけではなく、両学科の学生とも一緒に授業を受講しています。また、国際学科の教員が英語開講科目を担当することもありますし、逆に、国際キャリア学科の教員が日本語開講科目の担当もしています。

Q.文学部英文学科と国際学部の違いは何ですか？

文学部英文学科では、3年次より「イギリス文学コース」「アメリカ文学コース」「英語学コース」に分かれます。文学や言語、英語についての知識を深める学問といえます。一方、国際学部では、平和学・社会学・政治経済・比較文化などの授業から国際問題を読み解きます。また、語学としての英語そのものを学ぶというより、国際社会で活躍できるためのツールとして実践的な英語力の育成に力を入れています。詳しくは、大学案内掲載の各学科のカリキュラムをご参照ください。

Q.経済学部国際経営学科と国際学部の違いは何ですか？

国際経営学科は国際的な視座に立って経営学を学びます。国際学部では、経済学の科目は開講していますが、経営学は開講していません。ただし、国際学部生も国際経営学科の留学プログラム（主に語学研修、国際ビジネスの授業を受講）に参加することは可能です。※派遣先や人数は限定されます。

また、国際学部では留学は必須としていませんが、国際経営学科では、原則として2年次に留学を必須としています。

Q.法学部グローバル法学科と国際学部の違いは何ですか？

英語の習得と異文化理解力を養う点では共通していますが、それぞれのカリキュラムを見ていただければ、学ぶ分野が異なることがわかります。グローバル法学科は国際法や国内外の法律を比較研究します。一方、国際学部では、文化、政治、経済などを国際的な視点から考察し、入学後の興味関心に合わせて専攻分野を選べること、また欧米や英語圏のみならずアジア、アフリカ、中東など地域研究科目も開講していることが特徴に挙げられます。

また、国際学部では留学は必須としていませんが、グローバル法学科では留学を必須としています。

◆入試情報：<https://www.meijigakuin.ac.jp/admission/>

◎国際学科 (KS) について

Q.国際学科ではどんなことを学習しますか？

国際学科は様々な研究分野に特化している教授陣が多数いるため、あらゆる国際問題を様々な分野（政治・経済・社会・文化）から多面的に捉え、世界平和に貢献できるよう視野が広く学際的な人材育成に力を入れています（例えば、平和学や地域を分けて研究をする東北アジア地域研究、オセアニア地域研究といった授業などがあります）。1年次から実践的な英語学習及び英語以外の語学学習が行われ、語学力も鍛えられます。2年次からは自身が最も興味のある分野のゼミ（少人数クラス）に所属し、そのゼミで専門知識を修得します。基本的には卒業までそのゼミに属し、最終学期には自分が専念したい研究テーマについて卒業論文を執筆します。

Q. 国際学科にはどのような学生がいますか？

日本国籍：1038名 外国籍：43名 ※2024年4月時点（全学年）

日本で教育を受けた日本人学生のほか、多文化背景を持つ帰国生や、外国籍の学生も多く在籍しています。（アフガニスタン、インドネシア、バングラデシュ、ベトナム、ペルー、ミャンマー、香港、韓国、中国、台湾など）

Q. 演習（ゼミ）について教えてください。

「ゼミ」と呼ばれる演習の授業は少人数（教員一人につき10名程度の学生）で行われる必修科目で、国際学科の特徴といえます。1年次に基礎演習を行い、2年次に興味のある分野のゼミに属し、その分野に沿った研究をそれぞれが行い、教授が指導していきます。ゼミでは、ディスカッション、文献購読、論文執筆などを行い国際学の中でもより専門知識を身につけます。また、約半数のゼミは教員と共に「校外実習」を行います。ゼミの研究テーマに沿う国や地域を訪れ、肌で感じる学習を行います。期間は大体2週間、訪問先はアジア、ヨーロッパ、アフリカ、中東、日本国内と、所属するゼミにより様々です。

◆国際学部ウェブサイト参照

- ・演習（ゼミ）：<https://fis.meijigakuin.ac.jp/is/seminar/>
- ・校外実習：<https://fis.meijigakuin.ac.jp/is/field-study>

Q.留学は必須ですか？

国際学科を卒業するにあたり必須ではありませんが、毎年留学をする学生が多くいます。単位互換が可能な明学との協定校の場合（「認定留学」といいます）、半年～1年間留学しても4年間で卒業できるというメリットがあります。

渡航学年は、2年次からも留学可能ですが、明学での必修単位の科目履修状況等をふまえ、2年次までに必修科目の単位を修得後、3年次から留学に行くケースが一般的です。

◎国際キャリア学科 (KC) について

Q.国際キャリア学科ではどんなことを学習しますか？

国際キャリア学科は、1学年約50名の少人数教育を行っています。国際学科と同様に国際問題を幅広く学習するとともに、政治・経済・社会・文化を中心にカリキュラムを提供していますが、総合的な理解能力を育成し、原則、英語で授業を実施することで1年次から学術的な英語力を伸ばし、英語でのコミュニケーション能力の獲得を目指します。英語での授業に積極的に参加することにより、率先して海外や国際機関で活躍できるよう学生のキャリア教育や自己実現力を育てることに重きを置いています。国際学科

での「卒業論文」に相当するものとして、国際キャリア学科では最終学期に自分で決めた課題を中心に「Graduation Project」を英語で作成します。

1年次から自身の将来を考え、その目標に向けた留学、インターンシップ、フィールドスタディなど様々な機会を提供して、実践的なグローバル教育を追究しています。

Q. 国際キャリア学科にはどのような学生がいますか？

日本国籍：150名 外国籍：82名 ※2024年4月時点（全学年）

1. 日本語が主な教授言語である国内の高校を卒業し、英語で勉強したい日本人学生（最多）
2. 日本に生まれ外国で教育を受け、日本に戻った帰国生
3. International school または日本の公立・私立高校出身で日本に在住する外国籍の学生
4. 外国籍の学生（アフガニスタン、アメリカ、インド、エストニア、オーストラリア、スリランカ、タイ、バーレーン、フィリピン、香港、中国、台湾など）

Q. 原則、授業は英語で行われるとのことですが、語学としての英語の授業もありますか？

はい、あります。KCでは、英語で開講される学科専門科目をより効果的に受講するため、単なる語学の授業ではなく、「Academic English Program (AEP)」という徹底したアカデミックな英語教育を行っています。英語力は学生により異なるため、入学時に英語クラス分けテスト（TOEFL ITP 試験）を受験し、AEPの授業ではそのスコアをもとにそれぞれの英語力にあったクラスに振り分けられます。

◆国際学部ウェブサイト参照「Academic English Program」：<https://fis.meijigakuin.ac.jp/gts/fl-subj/>

Q. KCならではの活動について教えてください。

KCの学生は様々な形で課外活動を行う学生が多くいます。長期留学、国内外インターンシップ、教員と国内外で行うフィールドスタディ、Independent Study、Research Projectのいずれかを選択し、卒業までに実施する必要があります。KCにはKSのようなゼミの科目はありませんが、それぞれの学生にアカデミックアドバイザー（教員）がつき、進路や勉強など個々に指導していき、学生にあった学習スタイルをアドバイスしています。

Q. 国際キャリア学科のAO(A)入試とAO(B)入試はどのような違いがありますか？

国際キャリア学科の入試制度においては、国籍を問わず受験生はどちらの入試も受けることができます。但し、KCの授業は基本的に英語で行われますので英語能力に関する受験条件があり、また受験生の高校時代の教授言語度を対象にして、AO(A)とAO(B)の入試がそれぞれ行われます。

- ・「AO(A)入試」は、海外居住者も受験可能で、外国のリベラル・アーツ・カレッジ（英語: Liberal Arts College）のような試験です。受験条件を満たす受験生は志願書、入試動機のエッセイ、成績表、推薦書（2枚）、英語能力試験の結果（英検など）を提出し、書類審査の合格者はオンライン面接を受けます。
- ・「AO(B)入試」は一般的なAO入試に似て、受験条件を満たす受験生は志願書、成績表を提出し、書類審査の合格者は東京の白金キャンパスで筆記試験と面接を受けます。

Q. 国際キャリア学科のAO(A)入試とAO(B)入試はどちらを受けるべきですか？

想定されているAO(A)入試の受験生

1. 英語が主な教授言語である外国の高校からの卒業見込み・卒業した受験生。たとえば、アメリカ、カナダ、などにある私立・公立の高校卒業見込み・または卒業した受験生。
2. 英語が主な教授言語である国内の高校からの卒業見込み・卒業した受験生。国内のInternational school (The American School in Chofu、The Canadian Academy in Kobe、K International in Tokyo、Yokohama International School in Yamate 等)の卒業生。
3. 英語が主な教授言語ではなくても、AO(A)受験条件を満たした上で、志願した際、国外に住んでいるので、東京でAO(B)受験できない高校卒業見込み・卒業した受験生。
(例えば、主な教授言語は英語ではないアジア諸国に住んでいる受験生。または、外国に住んで日本語が主な教授言語である高校からの卒業見込み・卒業した受験生。)

想定されているAO(B)の受験生

日本語が主な教授言語である国内の高校からの卒業見込み・卒業した受験生。(注：近頃、外国出身・多文化背景のある公立・私立高校生が増えてきました。この場合でもAO(B)入試が望ましいです。)

◎入試について

Q.入試についての質問はどこにしたら良いですか？

入試に関する質問は、入試センターへお問い合わせください。

◆参照：入試情報 <https://www.meijigakuin.ac.jp/admission/>
(国際学部では両学科とも9月入学制度を採用しています。)

Q.受験資格について教えてください。

入試要項をご確認ください。 <https://www.meijigakuin.ac.jp/admission/guidelines/>

Q.一般入試の合否判定方法について教えてください。

明治学院大学では、各科目の成績から総合的に合否を決めます。選択科目間で不公平が生じないように、偏差値を導入したり、素点の調整を行ったりするため、単純にどれくらいの点数で合格できるかはお伝えできません。得意な科目を伸ばし、苦手な科目も諦めずに取り組めば、多少不得意な科目があっても合格の可能性は十分にあります。

Q.一般入試の傾向と対策は？

過去問が公開されているので必ず対策しておきましょう。

<https://www.meijigakuin.ac.jp/admission/reference/kakomon/>

- ・国語 (60分)：漢字は得点源になるのでしっかりと対策しておく。
- ・地歴・公民・数学(60分)：教科書をしっかり学習することが重要です。万遍なく出題される傾向があるので、なるべく苦手分野を作らないように心がけましょう。融合問題が出題される場合もあるので、他科目でも基礎的な知識は身につけておきましょう。

- ・英語（70分）：長文読解の対策をする。英作文では、述べたいことを補強する例も含めて、時間内に自分の答えをまとめられるようにしておきましょう。

Q. AO入試の過去問はありますか？

過去問が公開されているので必ず対策しておきましょう。

<https://www.meijigakuin.ac.jp/admission/reference/kakomon/>

※夏と3月に実施されるオープンキャンパスでは、教員や先輩学生に直接相談できる機会もありますのでぜひご参加ください。

◎留学全般について

Q. 留学についての情報はどこから調べられますか？

明治学院大学国際センターのウェブサイトをご参照ください。

<https://www.meijigakuin.ac.jp/international/>

※明治学院大学では全学部生に提供している、協定校への留学プログラムがあります。1ヶ月の短期派遣から1年の長期派遣があり、単位が認定されると4年間での卒業が可能です。（選考有）

Q. 留学について、大学ではどのようなサポートがありますか？

・明治学院大学国際センター（以下、国際センター）では、大学留学プログラムを募集しています。留学の期間や目的など、学生のニーズに応じた様々なプログラムが用意されています。

※たとえば本学の協定校で授業を履修する「交換留学」や、国連機関や海外のNGO/NPO団体、フロリダのディズニーリゾート等で就業体験ができる「国際貢献インターンシップ」や「グローバルキャリアインターンシップ」、春季・夏季休暇中に実施する「短期留学」や「SDGsフィールドスタディーズ」など。

・国際センターで募集するプログラムについては、留学候補者となった学生向けにオリエンテーションやガイダンスを複数回実施し、留学準備を支援しています。インターンシップなど、現地機関による「選考要素」が強いプログラムについては、選考対策として、研修も実施しています。

・語学力向上を支援するための「語学講座」や留学生と交流できる機会を持てる「バディ制度」などもあります。

・国際センターで募集しているプログラムについては、先輩の留学体験談等が掲載されている、留学のイメージが掴める冊子「留学のトビラ」や、認定留学制度やプログラムの募集内容などの、詳細が書かれた冊子「留学ハンドブック」を作成しているので、ご希望の方は国際センターまでお問い合わせください。

◆問合せ先：国際センター <https://www.meijigakuin.ac.jp/international/>

Q. 長期留学にはどんな種類がありますか？

大きく分けて「大学留学プログラム」、「学部・学科留学プログラム」、「協定外（私費）留学」があります。

「大学留学プログラム」は、全学部・学科生が参加可能なプログラムです。

- ① UC (University of California) Program
- ② ISP (International Student Program)
- ③ ACUCA (The Association of Christian Universities and Colleges in Asia) Program
- ④ 派遣留学：交換留学とは異なり、留学先の授業料が発生する。学内選考なし、派遣枠の制限がなく、応募条件を満たせば誰でも留学が可能となる。
- ⑤ グローバルキャリアインターンシップ(UCR-Disney)

⑥ 国際貢献インターンシップ（国連ユースボランティア等、海外ボランティアプログラム）

◆参照：大学案内 <https://www.meijigakuin.ac.jp/request/>◆問合せ先：国際センター <https://www.meijigakuin.ac.jp/international/>

Q. 上記⑤のグローバルキャリアインターンシップ（UCR-Disney）とは何ですか？

国際センター主管の全学部生対象の留学プログラムで、カリフォルニア大学リバーサイド校（UCR）エクステンションで観光ビジネス等の講義と、就業体験を含みます（Hospitality & Tourism Management Certificate Program）。アメリカ・フロリダのディズニーワールドで有給インターンシップを行います。

◆問合せ先：国際センター <https://www.meijigakuin.ac.jp/international/>

Q. 長期留学の対象学年について教えてください。

実際に留学を開始する約1年前の春学期または秋学期に実施される学内選考試験に合格する必要があります。また、在学中の学部生であること、出願時に在学2学期目以降であること、派遣先で定められた英語と成績の基準を満たすことが出願条件となります。

Q. 長期留学の参加制限はありますか？

制度上、2つの長期プログラムに参加することは不可能ではありません。しかし、留学の選考は1年前から始まり選考時期に日本にいる必要がありますので留学中の場合は応募できません。また卒業が大幅に伸びる可能性があります。

Q. 留学しても4年間で卒業できますか？

明治学院大学には「認定留学」という制度があり、提携している協定校および協定外の大学への留学中に修得した単位数等により、明学の学部学科で認定留学として承認された場合には4年間で卒業できることもあります。しかし、留学期間、本学の所属学部・学科、留学前に修得した単位数や、ゼミの取扱い、留学後の単位認定など、学生の状況により異なるため、4年以上かかる場合もあります。

Q. 費用はどのくらいかかりますか？

協定校への長期留学（交換留学）の場合、授業料は明治学院大学への納入のみで、留学先大学への学費は発生しません（生活費等は自己負担）。短期留学や学部・学科ごとの留学プログラム（国際学部主管のダブルディグリープログラム）はそれぞれ異なります。

◆参照：国際センターウェブサイト <https://www.meijigakuin.ac.jp/international/>

Q. 参加実績（割合）はどのくらいですか？（コロナ禍前）

2023年度に留学した学生の実績：

長期留学：53名（KS36名、KC17名）、短期留学：75名（KS74名、KC1名）

※在籍者数：1,238名（KS987名、KC251名）

※大学留学プログラム・学部学科留学プログラムを利用した人数のみ。

※自身で留学先を探し、休学して渡航する語学留学や私費留学は含まない。

※渡航先は英語圏とは限らない。

◎国際学部主管の「学部・学科留学プログラム」について

Q. 国際学部主管の「学部・学科留学プログラム」はありますか？

はい。国際学部主管のプログラムは、アメリカ・サンフランシスコ州立大学との二重学位制度（ダブル・ディグリー・プログラム）、オーストラリアでの日本語ティーチングアシスタント（TA）プログラム、香港でのビジネスプログラムがあります。（詳細後述）

Q. 二重学位制度（ダブル・ディグリー・プログラム）とは何ですか？

明治学院大学在学中に、明治学院大学とサンフランシスコ州立大学（SFSU）双方の大学の学位を取得できるプログラムです。

明学入学～SFSU 留学～SFSU 卒業～明学卒業までの期間は平均5年間（留学期間は平均2.5年）です。国際学部と専門に近い専攻（International Relations：IR）に留学した場合は明学の科目と互換可能な単位が多いため、他の専攻に比べ早期のSFSU卒業が可能となる傾向があります。IR以外の専攻も選択可能ですが、IRよりも長期の留学期間が想定されます。学費については、明治学院大学とサンフランシスコ州立大学の双方の学費を支払う必要がありますが、明治学院大学の奨学金を申し込むことで、明治学院大学の授業料に相当する金額が給付されます。

※参考（2024年度）：SFSUでの授業料や生活費などの1年間の概算は\$45,466。

Q.オーストラリアでの日本語ティーチングアシスタント（TA）プログラムとは何ですか？

オーストラリアの小学校～高校に日本語授業のアシスタントとしてインターンシップを行う約半年間のプログラムです。大学での扱いは「留学」ではなく通常の在籍状態のまま渡航します。（留学にかかる費用概算は大学案内をご参照ください。）

Q.香港でのビジネスプログラムとは何ですか？

香港にある日系企業で夏季休暇期間中の1か月間インターンシップが可能です。ビジネスマナー講座や、基本的な業務などを体験します。（実施されない年度もあるためお問い合わせください。）

◎就職・進路について

Q.卒業後の進路について教えてください。

以下をご参照ください。

- ・本学ウェブサイト「キャリア」 <https://www.meijigakuin.ac.jp/career/>
- ・国際学部パンフレット <https://fis.meijigakuin.ac.jp/about/ebook/>
- ・大学案内 <https://www.meijigakuin.ac.jp/request/>
- ・「国際学部の扉」ウェブサイト（卒業生のインタビュー等） <http://mswwres.meijigakuin.ac.jp/~yisa/dw/>

Q.卒業生の進路先について教えてください。

国際学部生は様々な業界へ就職しています。商社、メーカー、金融、NPO/NGO、外資系企業、製薬会社、ホテル、保険会社、国内外の大学院進学など幅広く活躍しています。

※参照：大学案内 <https://www.meijigakuin.ac.jp/request/> の各学科紹介ページ円グラフ

Q.留学中の就活について相談できる場所はありますか？

本学の「キャリアセンター」で、渡航前に就職活動のスケジュールのアドバイスがもらえます。留学中にもキャリアセンターにメール相談が可能な他、留学を経験した卒業生の職場に訪問して話を聞くこともできます。国により異なりますが、例えばアメリカでは日本人学生を対象に現地で就活イベントを実施しています。過去にそこで内定を得た先輩もいます。ダブルディグリープログラムの留学先であるサンフランシスコ州立大学では、毎年、日系企業がリクルートするキャリアイベントが行われています。

Q.エアライン関係への就職に興味があるのですが…

エアラインに特化した授業科目はありませんが、客室乗務員やグラウンドスタッフを目指す学生は、本学のキャリアセンター主催の課外講座「ヘボン・エアラインクラス」に参加しています。

◆参照：キャリアセンター <https://www.meijigakuin.ac.jp/career/>

◎その他

Q. 国際交流はありますか？

国際学部には、帰国子女や正規留学生、外国籍の教員など様々なバックグラウンドを持つ人が在籍しています。また例年（コロナ禍を除く）、毎学期、アメリカのカリフォルニア大学（UC）から交換留学生を受け入れているので授業を一緒に受講することができ、プライベートでも仲良くなれるようなイベントがたくさん行われています。アジアからの留学生も多く在籍しています。校内では休み時間になると英語だけでなく様々な言語が飛び交うグローバルな環境となっています。

Q. 横浜キャンパス周辺での一人暮らしは便利ですか？

国際学部生は4年間横浜キャンパスに通うので、大学周辺や最寄り駅の戸塚駅周辺に住んでいる学生も多くいます。戸塚駅周辺にはスーパー、コンビニ、カフェ、レストラン、商業施設等が複数あり生活には困りません。また、戸塚でアルバイトをする学生も多く、明学生には暮らしやすい地域となっています。

Q. 学生寮はありますか？

セキュリティに配慮した明学生専用の女子寮（東神奈川）と、留学生と共同生活ができる国際学生寮（戸塚駅徒歩5分）があります。いずれの寮も入寮受付は11月頃から先着順に行います。先着順なので推薦入試合格者の入居が多くなりますが、例年、一般入試の合格が確定してから申し込んでも入居が可能な状況です。具体的な相談は、以下のURLを参照し、入学が決定次第、直接お問い合わせください。

◆参照・問合先：本学ウェブサイト「学生寮」<https://www.meijigakuin.ac.jp/gakusei/welfare.html#D>